

# 資料紹介

## 国宝・三仏寺奥院 [投入堂] の模型

鳥取県に関する国宝は、絵画（仏画）の絹本着色普賢菩薩像（智頭町・豊乗寺所蔵）、考古資料の伯耆一宮経塚出土品（湯梨浜町・倭文神社所蔵）、建造物の三仏寺奥院 [投入堂]（三朝町・三仏寺）の3件あります。このうち、普賢菩薩像と伯耆一宮経塚出土品は東京国立博物館へ出品されています。残る投入堂は動かしようがないので、鳥取県唯一、在地の国宝（文化財）といえます。

鳥取県立博物館は、この投入堂の1/10模型を所蔵し歴史・民俗展示室で紹介しています。銘板によると、この模型は、昭和59年2月（吉日）、設計監督・樋野繁次（ヒノ設計）と棟梁・佐藤新一が製作したものです。当館には、この投入堂模型製作に関する図面と調査風景の写真が関連資料として伝わっています。

なお、ヒノ設計は米子市内の有限会

社であることから、当館の投入堂模型の兄といえる、（昭和57年4月吉日製作）の模型が長らく米子市立図書館にありました（現在は三朝町役場に移送）。そしてもうひとつ、鳥取県中部工務士会製作のものがあり、あわせて3件、1/10模型が存在します。当館の投入堂模型には、特別にあつらえたモ

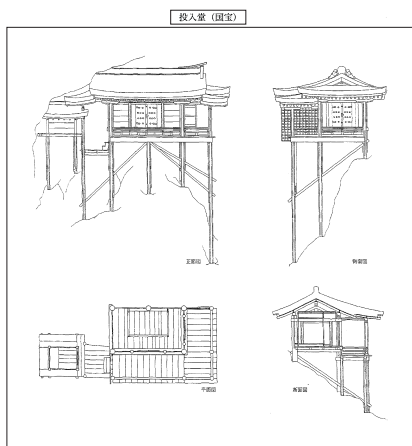


投入堂模型

ルタル製の岩窟が附属しており、最も精巧にできていると思うのは、身内びいきでしょうか。

平成27年4月、国の名勝及び史跡・三徳山と、東洋第一のラジウム含有を誇る三朝温泉（東伯郡三朝町）が、「六根清浄と六感治療の地～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～」として、「日本遺産」第1号に認定されました。これを機に、鳥取県に唯一存在する国宝の建造物、投入堂の研究がさらに進展してほしいと考えています。

（学芸課 福代 宏）



投入堂図面

# コラム

## 姫路の殿様が鳥取にやって来た！

来年は、姫路城主池田光政（1609～1682）が鳥取に転封されてから400年目に当たります。

この転封によって、一大名が鳥取を拠点に因幡と伯耆を管轄するという基本的な枠組みが初めて形成されました（ただし大山寺領は除く）。この枠組み

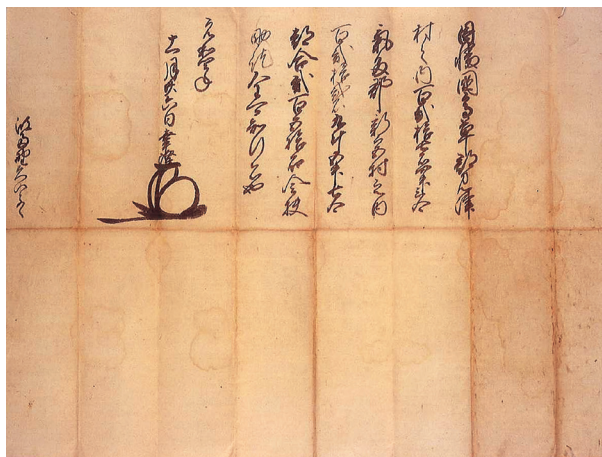
を鳥取県がほぼ引き継いでいるという意味で、1617（元和3）年の光政転封は、現在を生きる私たちにつながる歴史的な出来事のひとつといえるでしょう。

池田光政は、現在の高等学校の日本史教科書にも登場する、近世初期を代表する大名のひとつで、一般には岡山藩主として閑谷学校を開設した業績などが知られています。鳥取藩主時代は9歳から24歳までの青年期だったこともあり、藩政は池田家の重臣による評議によって進められたようです。

国替え当初の池田家は、姫路42万石から鳥取32万石へと減封された影響で、数々の難題に直面しました。なか

でも課題となったのは、知行取り家臣に対して、姫路時代と同じ知行高を維持する方法でした。写真（当館蔵）は池田光政がまだ「幸隆」と名乗っていた鳥取藩主時代の1618（元和4）年に、家臣の波多野久八に250石の知行を与えた文書です。この文書によって波多野は姫路時代と同じの知行高を与えられていますが、実はこの数字は直高とあって、実質の手取りは、約6割に下げられていました。こうした工夫によって課題を乗り切った池田家ですが、この直高は、光政が鳥取から岡山へ転封となった後も、池田家の大きな足かせとなったようです。

池田光政が鳥取を治めていた時代の歴史資料は、今日ほとんど伝わっていないので、転封当初の池田家の苦勞を垣間見ることができるこの古文書は、貴重な歴史の証言者ともいえるでしょう。（学芸課 来見田 博基）



鳥取藩主池田幸隆（光政）が家臣に出した文書

# 博物館の在り方に関するその後の検討状況について

昨年度一年間をかけて博物館の今後の在り方について検討していただいた「鳥取県立博物館現状・課題検討委員会」の活動については、前回の博物館ニュースで報告しました。今年3月には、林田会長より山本教育長に同委員会の検討結果報告書が提出され、現在の自然、歴史民俗、美術の三分野のうち、一分野を分離独立させて、新しい施設の整備を図ることが提言されました。この見直し作業は全国からも注目を浴び、その経緯について、私自身が去る6月10日に第22回全国博物館長会議で事例発表を行いました。発表は参加者の関心を引き、いくつもの博物館や美術館から報告書を送ってほしいという要請を受けました。(報告書の内容は現在、博物館のホームページにアップしていますから、簡単に御覧いただけます)

この報告書を受けて、博物館の在り方に関する検討は、今年度から次の段階に入りました。県教育委員会として

は、報告書の内容や県民アンケートの結果等も踏まえ、三分野のうち美術分野を独立させることとし、県立美術館を整備する場合の基本構想を策定する予算を6月定例県議会に上程しました。この予算が認められたことから、7月には「美術館整備基本構想検討委員会」を設置しました。「鳥取県立博物館現状・課題検討委員会」の委員(自然や歴史の専門家を除く)に、博物館協議会の美術専門家委員、さらに公募委員2名を加えた15人で構成され、7月29日に第1回の委員会を開催しました。

委員会には、できれば今年度中に新しい美術館の基本構想をまとめていただきたいと考えています。検討の過程では、県民の皆さんの意見もよく聞いて、適宜美術館の基本構想に反映させ、美術館に対する理解を深めていきたいと考えています。節目毎に、県民意識調査や県民フォーラムも開催する予定です。県民的なコンセンサスを形成することが重要であり、拙速は避けるた

めに場合によっては構想策定が来年度にずれ込むかもしれません。この基本構想の中で、美術館の性格や設置理念、持つべき機能、そのために必要な施設規模や構造設備、立地場所、運営方法などの基本的な事項を明らかにしたいと考えています。

また、美術館と併行して、現施設に残る自然・歴史分野の在り方についても、具体的な検討を進めます。新美術館に自然・歴史分野の資料等も一旦保管した上でなければ、本格的な改修ができないため、現施設の改修はしばらく先になりますが、美術館と併行して、基本的な方向性については今から考えておく必要があると思います。これについても、やはり基本構想的なものを、博物館協議会の方で検討して貰いながら、県民の皆さんの意見も聞いて、できれば今年度中に取りまとめていきたいと考えています。

(副館長 尾崎 信一郎)

## 活動レポート

### まちなかに潜むアート ～ワークショップ「カメラをもってまちあるき」より～

まちなかを歩いていると、思わず撮影したくなる光景に遭遇することがあります。それは、自然の美しさや歴史的な景観だったり、催事などの特別な状況だったり様々です。さらに、カメラ機能が付いた端末の普及とSNSの進化によって、撮影すること、あるいはそれらをシェアして楽しむことは、日常的な嗜みの一つとなっているかもしれません。みなさんは何を撮影し、また、どのような写真をご覧になっているでしょうか。

さて当館の美術部門では、3年前より「カメラをもってまちあるき」というワークショップを実施しています。鳥取市内、三朝温泉周辺、琴浦町赤碕エリアを会場としましたが、いずれも定員を満し、好評の企画となりつつあります。このまちあるきは、主に3つの内容で構成しています。(右上表)

参加者の作品は、ものの配置や配色によって「〇〇に見える」シリーズや、家屋や道端の不可思議な状況を発

#### ① 説明およびレクチャー

見慣れた光景のなかに面白いものを見出そうとした先人たちの作品を紹介する。(「路上観察学会」によるシュールでおかしみのある物件を撮影した写真、ウィリアム・エグルストンやスティーヴン・ショアの芸術写真など)

#### ② まちあるきと撮影

前段のレクチャーを参考に撮影テーマを決定し、まちなかを自由に散策、撮影する。

#### ③ 発表会

撮影した写真にタイトルをつけて発表する。

見したもの、ストーリーを加えて物語の一場面のように仕立てた詩的な作品など、実にバラエティ豊かです。また、添えられるタイトルによって、撮影者の感性が光ります。そして、発表を聞くたびに思うのです。「見慣れたまちなかに潜むアートを、どれほど私たちは見落としているか」ということを。

誰もが当たり前のように撮影機器を携帯する今日、撮影する機会は増えて

も能動的に情景を探し出そうとすることは、そう多くありません。アート界の先人たちが示した視点を少し意識するだけでも、視覚が活性化され、何気ない景色であっても魅力的に映り、そして日常生活がより豊かものになるかもしれません。そうなることを期待しつつ、次年度も新たな場所での開催を検討しています。

(美術振興課 山本 亮)



まちなかの一角を撮影する参加者

# 新しくなった山陰海岸ジオパークの地形地質模型

山陰海岸学習館に展示している、山陰海岸ジオパークの地形地質模型が新しくなっていることをご存知でしょうか。昨年、4年に一度の世界ジオパーク再認定審査が行われ、山陰海岸ジオパークは再び世界ジオパークとして再認定されましたが、その際に、鳥取市青谷町までの西部地域も新たに山陰海岸ジオパークのエリアとして認定されました。これまでの地形地質模型は、山陰海岸ジオパークのエリアの西端を再認定前の鳥取市白兔海岸までにしていましたので、再認定に合わせてリニューアルしたものです。

地形地質模型を見ると、鮮やかな色で大地が塗られています。多くの大地は表土で覆われていますが、この模型はその表土の下にある岩石や地層の分布、それらができた地質年代などで色分けしたものです。色分けをするにあたっては、いくつかの地質図を参考にしています。地質図とは、表土の下にある実際には見えていない岩石の種類や地層の分布、構造などを表土をはがした状態で地図上に示したものです。

地質図を描くためには、谷や尾根を一つずつ丁寧に歩き、岩石や地層が見えている場所（露頭）で、それらがどのように重なり、広がっているかを確認します。そして、室内で岩石や地層の分析、鑑定作業などを行い、さらにこれまでの調査や研究をもとに描かれます。「地質図は足で描く」と言われます。日本全国、様々な縮尺の地質図が作られていますが、すべて多くの人たちの地道な努力で作られたものなのです。

山陰海岸学習館の地形地質模型も、多くの人たちの努力の成果の上でできたものです。山陰海岸ジオパークのテーマである、「日本海形成に伴う多様な地形・地質、風土と人々の暮らし」も、エリア内の地質やその年代など、地質図の情報からテーマが決まったともいえます。また、地質図は平面ですが、地形地質模型は立体です。高さを3倍に強調して表現していますので、山陰海岸ジオパークの地形の特徴がよ



新しくなった地形地質模型

り体感していただけます。ご来館いただいた際には、ぜひじっくりとジオパークの大地を眺めてみてください。

(山陰海岸学習館 安藤 和也)

## ■ 普及活動一覧(平成27年度)

### 城原海岸の打ち上げ貝を調べよう

10月10日(土)午前10時～午後2時 小雨決行  
場所/城原海岸・渚交流館(自家用車による移動を含みます)  
対象:小学生4年生以上(小学生は保護者同伴) 定員:20名  
申込開始:9月17日(木)

### 山陰海岸ジオハイキング～駈馳山ぐるっと一巡りコース～

10月18日(日)午前9時～午後2時  
場所/岩戸海岸～滝ヶ磯～大谷海岸～岩戸海岸  
対象:小学生以上(小学生は保護者同伴) 定員:20名  
申込開始:9月24日(木)

### 天体観望会「秋の星を見る会」

11月14日(土) 予備日15日(日)午後6時30分～午後8時30分  
場所:山陰海岸学習館 駐車場  
対象:小学生以上(小学生は保護者同伴)  
申込不要

※申込、問合せは山陰海岸学習館(電話:0857-73-1445)へ

鳥取県立博物館付属

## 山陰海岸学習館

San'in Kaigan Nature Museum



- 入館料:無料
- 開館時間:9時～17時
- 休館日:毎週月曜日・国民の祝日の翌日(月曜日が祝日の場合は翌平日に振替休館) 年末年始(12月29日～1月3日)

【お問い合わせ】〒681-0001

鳥取県岩美郡岩美町牧谷1794-4

電話:0857-73-1445

FAX:0857-73-1446



# INFORMATION お知らせ

講座・観察会・毎週土曜はアートの日! LECTURE・FIELD STUDY・EVENT

■自然部門 ■歴史・民俗部門 ■美術部門(毎週土曜はアートの日!)

|   |   |  |
|---|---|--|
| 2015<br>10<br>OCT.                                      | 《こども歴史講座》<br>縄文の手形づくり                             | ■10月1日(木)9:30~10:30/10:30~11:30/会議室(予定)<br>■未定観覧とその保護者/各回親子5組(先着)/材料費150円<br>※申込受付:9月15日(火)~、電話のみ  |
|   | 《ギャラリートーク》<br>「日本近代洋画への道」展                        | ■10月3日(土)14:00~15:00/展示室<br>■高校生~一般/定員なし/観覧料   |
|   | 《歴史講座》<br>GHQの鳥取進駐                                | ■10月10日(土)10:00~12:00/会議室<br>■一般/20名<br>※鳥取地域史研究会との連携講座  |
|   | 《ワークショップ》市内アート探検2015<br>広徳寺庭園・什物特別拝観              | ■10月10日(土)13:00~14:30/鳥取市内<br>■高校生~一般/20名/無料<br>※申込受付:9月25日(金)~、電話のみ                               |
|   | 《歴史講座》<br>「鳥取こちずぶらり」でまち歩き                         | ■10月11日(日)10:00~12:00/14:00~16:00/応接室、市内<br>■一般/各回4名<br>※申込受付:9月11日(金)~、電話のみ                       |
|   | 《日本近代洋画への道》展開連ワークショップ<br>油絵の具をつくろう!               | ■10月17日(土)14:00~16:00/会議室<br>■小学生~一般(小学生は保護者同伴)/20名(先着順)<br>※申込受付:10月2日(金)~、電話のみ                   |
|   | 《野外観察会》<br>きのこを調べる会                               | ■10月17日(土)10:00~14:00/大山寺周辺(大山町)<br>■小学生~一般(小学生は保護者同伴)/20名(先着順)<br>※申込受付:9月24日(木)~、電話のみ 共催:大山自然歴史館 |
|   | 《日本近代洋画への道》展開連企画<br>特別講演会 講師:木下直之氏(東京大学教授(文化資源学)) | ■10月24日(土)14:00~15:30/講堂<br>■高校生~一般/250名/無料  |
|   | 《ギャラリートーク》<br>「日本近代洋画への道」展                        | ■10月31日(土)14:00~15:00/展示室<br>■高校生~一般/定員なし/観覧料  |
|   | 2015<br>11<br>NOV.                                | 《野外観察会》<br>おちばの中のモンスターをさがそう!   |
| 《日本近代洋画への道》展開連企画<br>特別講演会 講師:古田亮氏(東京藝術大学大学院美術学専攻)       |   | ■11月7日(土)14:00~15:30/講堂<br>■高校生~一般/250名/無料   |
| 《野外観察会》<br>化石をさがせ!                                      |   | ■11月8日(日)10:00~15:00/国府町土地(鳥取市)<br>■小学校高学年~一般(小学生は保護者同伴)/20名(先着順)<br>※申込受付:10月15日(木)~、電話のみ         |
| 《歴史講座》<br>鳥取藩の鉄山政策史1                                    |   | ■11月14日(土)10:00~12:00/会議室<br>■一般/20名<br>※鳥取地域史研究会との連携講座  |
| 《スペシャルアートシアター》<br>「キューティー&ボクサー」                         |   | ■11月14日(土)14:00~15:30/講堂<br>■高校生~一般/250名/無料  |
| 《サイエンスレクチャー》中村栄三博士講演会<br>「偶然には準備のある者にしか微笑まない一宇宙から人生を見る」 |   | ■11月15日(日)14:00~16:00/鳥取県立博物館 講堂<br>■中学生・高校生~一般/250名<br>※申込受付:HPにてお知らせします                          |
| 《スペシャルアートレクチャー》<br>「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015というプロジェクト」 |   | ■11月21日(土)14:00~15:30/講堂/無料<br>■講師:河本信治氏(PARASOPHIAアーティストティックディレクター)                               |
| 《野外観察会》<br>しいのみさがしと森のたんけん                               |   | ■11月21日(土)10:00~12:00/博覧公園(鳥取市)<br>■幼児~一般(小学生以下は保護者同伴)/20名(先着順)<br>※申込受付:10月29日(木)~、電話のみ           |
| 《講演会》<br>伯耆大山と近代観光                                      |   | ■11月22日(日)14:00~15:30/講堂<br>■高校生~一般/250名   |
| 《アートセミナー》<br>「書と現代美術」                                   |   | ■11月28日(土)14:00~15:30/会議室<br>■高校生~一般/40名/無料  |

|  |  |  |   |
|--|--|--|---|
| 2015<br>12<br>DEC.                           | 《歴史講座》<br>集団疎開と鳥取(仮)                         | ■12月12日(土)14:00~15:30/講堂<br>■高校生~一般/無料                                   |   |
|  | 《民俗講座》<br>鳥取県の民話を聞かす                         | ■12月13日(日)14:00~15:00/歴史・民俗展示室 復元武者コーナー<br>■小学生~一般/約40名/入館料              |   |
|  | 《スペシャルアートシアター》<br>「ANPO」                     | ■12月19日(土)14:00~15:40/講堂<br>■高校生~一般/250名/無料                              |   |
|  | 《歴史講座》<br>鳥取県内の戦争遺跡                          | ■12月20日(日)13:30~16:00/会議室<br>■高校生~一般/無料                                  |   |
|  | 《民俗講座》<br>しめ飾りを作ろう!                          | ■12月23日(祝・水)13:00~15:30/会議室<br>■高校生~一般/20名(先着順)<br>※申込受付:11月24日(火)~、電話のみ |   |
|  | 《歴史講座》<br>鳥取藩の鷹狩と御鷹師                         | ■1月9日(土)10:00~12:00/会議室<br>■一般/20名<br>※鳥取地域史研究会との連携講座                    |   |
|  | 《ギャラリートーク》<br>戦後70年 戦争と鳥取                    | ■1月9日(土)13:00~14:00/企画展示会場<br>■高校生~一般/観覧料                                |   |
|  | 《ギャラリートーク》<br>美術部門テーマ展示Ⅳ「染織の美」展              | ■1月9日(土)14:00~15:00/展示室<br>■高校生~一般/定員なし/観覧料                              |   |
|  | 《アートシアター》<br>東京のモダニズム建築-オフィス編                | ■1月16日(土)14:00~15:30/講堂<br>■高校生~一般/250名/無料                               |   |
|  | 2016<br>1<br>JAN.                            | 《ジュニア県展開連ワークショップ》<br>モシャモシャ探検隊! 2016                                     | ■1月23日(土)10:00~16:00/会議室<br>■小学生~一般(小学生は保護者同伴)/定員なし/無料                |
| 《スペシャルアートシアター》<br>山村浩二短編アニメーション作品「頭山」他       |  | ■1月30日(土)14:00~15:30/講堂<br>■小学生~一般(小学生は保護者同伴)/250名/無料                    |   |
| 《ギャラリートーク》<br>コレクション展Ⅶ                       |  | ■2月6日(土)14:00~15:00/展示室<br>■高校生~一般/定員なし/観覧料                              |   |
| 《アートセミナー》<br>「アートと社会2」                       |  | ■2月13日(土)14:00~15:30/会議室<br>■高校生~一般/40名/無料                               |   |
| 《民俗講座》<br>わら草履を編もう!                          |  | ■2月14日(日)13:00~15:30/会議室<br>■高校生~一般/20名(先着順)<br>※申込受付:1月15日(金)~、電話のみ     |   |
| 《スペシャルアートシアター》<br>ツァイミンリヤン監督作品「郊遊くビクニック」     |  | ■2月20日(土)14:00~16:20/講堂<br>■高校生~一般/250名/無料                               |   |
| 《ギャラリートーク》<br>鳥取の表現者File.07「探究する工芸家たち」       |  | ■2月27日(土)14:00~15:00/展示室<br>■高校生~一般/定員なし/観覧料                             |   |
| 《講演会》<br>世界史からみた山陰の縄文時代                      |  | ■2月28日(日)14:00~15:30/講堂<br>■高校生~一般/250名                                  |   |
| 《鳥取の表現者File.07「探究する工芸家たち」関連企画》<br>アーティストトーク① |  | ■3月5日(土)14:00~15:30/展示室<br>■高校生~一般/定員なし/観覧料                              |   |
| 2016<br>2<br>FEB.                            |  | 《歴史講座》<br>池田輝澄と一門衆   | ■3月12日(土)10:00~12:00/会議室<br>■一般/20名<br>※鳥取地域史研究会との連携講座                |
|  | 《鳥取の表現者File.07「探究する工芸家たち」関連企画》<br>アーティストトーク② | ■3月12日(土)14:00~15:30/展示室<br>■高校生~一般/定員なし/観覧料                             |   |
|  | 2016<br>3<br>MAR.                            | 《歴史講座》<br>伯耆往来を歩く 青谷~泊   | ■3月13日(日)10:00~15:00<br>■高校生~一般/20名(先着順)                              |
|  |  | 《公開研究会》<br>「県民と学ぶ最新の鳥取藩研究」Ⅳ  | ■3月26日(土)13:00~16:00/米子市立図書館<br>■一般/150名                              |
|  |  | 《アートセミナー》<br>「工芸家たちが探究してきたもの」  | ■3月19日(土)14:00~15:30/会議室<br>■高校生~一般/40名/無料                            |
|  |  | 《立体作品展開連企画大人向けワークショップ》<br>オブジェをつくる(仮)                                    | ■3月26日(土)10:00~15:00/会議室・展示室<br>■高校生~一般/8名/無料<br>※申込受付:3月11日(金)~、電話のみ |

美術部門の詳細については、「毎週土曜はアートの日」のリーフレットをご参照ください。

※特に記載のないものは申込不要です。※講座によっては材料費などが必要な場合があります。詳しくはホームページなどでご確認ください。※小学生以下は保護者同伴でご参加ください。  
※託児サービス・手話通訳・要約筆記にも対応いたします。希望される場合は3週間前までにご連絡ください。※申し込み・お問い合わせは芸芸課(0857-26-8044)または美術振興課(0857-26-8045)へ。

## 鳥取県立博物館ニュース No.20

平成27年(2015年)9月30日発行

編集・発行 鳥取県立博物館

住所 〒680-0011 鳥取市東町2丁目124番地

TEL 0857(26)8042(代)

FAX 0857(26)8041

URL <http://www.pref.tottori.jp/museum/homepage.htm>

E-mail [hakubutsukan@pref.tottori.jp](mailto:hakubutsukan@pref.tottori.jp)

■入館料:常設展/一般180(150)円  
( )内は20名様以上の団体料金  
■開館時間:9時~17時(入館は16時30分まで)  
4月~10月の企画展開催中の土、日、祝日は  
19時まで開館(入館は18時30分まで)  
■休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌平日が休館日)  
国民の祝日の翌日(土、日、祝日の場合を除く)  
年末年始(12月29日~1月3日)  
※具体的な休館日等は、ホームページでご確認ください。



■JR鳥取駅からタクシーで約10分  
■当館駐車場21台駐車可能(なるべく公共交通機関をご利用ください)  
■鳥取Cより約15分

お客様の満足のその為へ...

**MORRIX**  
株式会社モリックスジャパン  
TEL 0857-23-3641  
本社 鳥取市南栄町203-6  
倉庫店 倉吉市下町中870 中瀬ビル3F  
<http://www.morrix.co.jp/>

引越は日通  
0120-154022